

No. 12 福祉分野と医療分野の統合について（令和４年８月受付）

内容	大多喜町にある唯一の大学機関、三育大学に福祉児童受け入れ申請手続きを公共で行って頂きたい。 三育大学の歴史を見ると、キリスト教孤児受け入れ先として始まっている。現在、日本は福祉と医療は全くの別物であると言われている。そこで三育大学に全国の孤児受け入れを再度開始、医療のスペシャリストの大学と同時に福祉と医療の橋渡しのできる人材育成を行ってはどうか。三育大学では空き部屋が目立つと共に老朽化が進み建物の改築も必要である。 医療と福祉を統合する為にも、是非検討して頂きたい。
回答	お問い合わせの「三育学院大学に福祉児童受入申請手続きを公共で行って頂きたい。」とのことですが、三育学院大学は、独立した学校法人であり、独自の教育理念や基本方針のもとで運営されている団体でございます。 医療と福祉分野の連携は、少子高齢化社会にとって重要なことと考えますが、町が直接的に学校法人の業務等に関わることは出来ませんので、ご理解くださるようお願い申し上げます。 ご提案の内容につきましては、貴重なご意見として、今後の福祉行政の参考とさせていただきます。